

記者発表資料

第2回三宅島火山ガスに関する検討会の議事概要について

平成14年10月28日
内閣府

第2回三宅島火山ガスに関する検討会が以下のとおり開催されましたのでお知らせします。

開催日時 平成14年10月28日(月) 午後6時から午後8時まで
開催場所 東京都庁第一本庁舎42階北塔 特別会議室A
出席委員 内山座長、大前委員、鍵山委員、工藤委員、平林委員、足立委員(代理出席)、布村委員、務台委員(代理出席)、小宮委員、徳毛委員、原田委員、齋藤委員(代理出席)、佐藤委員(代理出席)、関口委員(代理出席)、野村委員

議事概要

行政委員として、佐藤三宅島警察署長が加わった。

<事務局からの報告事項>

- ・硫酸ミストの測定計画について
11月と2月に島内3箇所です測定する予定であることが報告された。
- ・三宅村住民の呼吸器系・心臓系疾患患者数について
三宅村から避難前の年齢別疾患別患者数の割合が報告された。
- ・過去十年間に発生した火山ガスによる死傷事故、火山ガスによる入山規制等の状況について
総務省消防庁から国内の火山に関する調査結果が報告された。

<議題1> 火山ガスの特性について

- ・島内で観測されている二酸化硫黄濃度、硫化水素濃度のデータについて分析を行った。

(委員の主な意見)

測定原理の異なる気象庁のデータと都環境局・内閣府・三宅村のデータを比較する際には、補正係数について更に検討が必要である。
二酸化硫黄の急性影響に対する緊急対応のレベルとして5分値で5ppm、2ppmを超えた回数がどのくらいあるのか調査して欲しい。

風向きと濃度の関係についてもう少し詳細に調べて欲しい。火口との距離の関係や地形的な影響などを考慮した方がいいのではないか。

島内濃度の傾向を示す場合は、なぜそうなるのかという理由についても分かる範囲で示すべきではないか。

<議題2> その他

中間報告のまとめ方について事務局から提案があり、三宅島火山ガスの特性を中心にまとめることとされた。

(次回予定)

12月中～下旬をめどに日程を調整する。

【問い合わせ先】

内閣府参事官補佐(地震・火山対策担当)	齋藤
" 参事官(地震・火山対策担当)付主査	西宮
TEL 03-3501-5693	

*なお、東京都災害対策本部からも同様の発表がなされています。